

学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2018年4月1日
至：2019年3月31日
【評価基準日】 2019年4月1日

学校法人 麻生塾
麻生リハビリテーション大学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 3 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告	- 4 -
1. 重点項目について	- 4 -
2. 基準項目について	- 5 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生リハビリテーション大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
有識者	梶 史人	福岡県言語聴覚士会 理事(生活介護 風の丘)
有識者	久保田 勝徳	福岡県理学療法士会 理事(福岡桜十字病院)
有識者	黒木 勝仁	福岡県作業療法協会 理事(原三信病院)
業界関係者	井本 俊之	株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 副技師長
高校	尾崎 祥一	福岡県立稲築志耕館高校 校長
地域住民	小波 昌之	福岡市東比恵
卒業生	西村 天利	平成18年度 理学療法学科卒業生
保護者	日高 幸彦	言語聴覚学科保護者

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2019年6月28日(金) 16:00 ~ 17:00

場 所：麻生リハビリテーション大学校 2階 会議室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2018年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2018年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

学校関係者評価結果： 適

- (1)教育目標、育成人材像、行動指針および3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）の見直し。
- (2)育成人材像、行動指針を実現するために、2020年度カリキュラム改訂に対応し、かつ各学科の特色を生かしたカリキュラムの提供を行う。
- (3)基礎科目から応用科目へ発展するように診療参加型実習に対応した講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を実施する。
- (4)リメディアル教育の充実。

以上の重点項目に対し、取り組み状況は以下の通り。

- (1)教育目標、育成人材像および3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）をカリキュラム委員会において検討した。
- (2)2020年度カリキュラム改訂に向けたシラバス、カリキュラムマップ（ツリー）の策定に関しては、各学科において教職員全員が参画し、検討を重ねた。
- (3)診療参加型実習をPT学科では今年度より導入し、OT、STの両学科ではその準備を進めている。
- (4)ベネッセグループの入学前教育プログラムを導入し、リメディアル教育の充実を図った。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、人材育成像

学校関係者評価結果： 適

法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を定め、学校構成員に周知を図り、社会に公表している。

(1)教育目標、育成人材像および3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）が明文化された。今後は教職員、講師会、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等でも周知を進めていく。

(2)2020年度カリキュラム改訂に向けたシラバス、カリキュラムマップ（ツリー）について初案策定済み。今後、実施に向けて詳細を詰めていく。

(3)昨年に引き続き、臨床教育施設および臨床実習指導者への診療参加型実習運用への理解と協力を推進していく。

(4)リメディアル教育の効果検証を実施していく。

委員より自己評価が低い、なぜなのか質問があった。各学科での教育目標の設定がまだ作成されてなく、今後の課題であることを確認した。

またホームページへの記載や広報に関して不十分であることも課題となった。

次年度カリキュラム改訂があるのでカリキュラム会議のなかで各学科で検討していただく。またホームページや募集要項の中で教育理念やポリシーを掲載して頂くよう広報と検討する。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適

学校の理念に沿った運営方針を定め、規定通りに運営している。

運営方針を策定し、方針に沿った事業計画を策定している。また、年度開始前に学校内で「キックオフミーティング」を開催し、学校教職員での周知・共有を図った。運営組織や意思決定システムについては、毎週水曜日に校長代行、校長代行補佐及び学科責任者による会議を行い適時事業計画の運用状況を確認し、共有出来ている。

教職員の採用、人事給与に関する取扱いは、各規程等を整備し、学校法人として取りまとめて、適正に運用している。

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適

教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施している。

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みは、学校および学科の教育方針に従って、厚生労働省の指定規則を遵守した形で作成している。

教育目的、育成人材像は学科毎に明確に定めており、「学生便覧」等で周知している。教科毎のシラバスも作成されており学科毎に前期・後期、それぞれ学生および教員に配布共有している。時代の変化に対応した内容となるように見直しも行なっている。

学校の特色については、総合パンフレットやWebサイトで広く公表している。

2020年度カリキュラム改訂を行う予定であり、現在改定作業を進めている。カリキュラム会議を通し、指定規則を遵守したカリキュラム策定予定である。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適

学科ごとに学生の学修成果を中心とした目的・目標を設定して教育活動を行い、多様な視点から成果の達成状況を把握し、改善に活用している。

特に1年次は、ベネッセグループの教育システムを導入し、入学前教育の徹底と授業スタート前に学力確認テストおよび、学習へのモチベーションを測ることを施した。そのデータをもとにそれぞれの学生の学力を把握し、個別指導を徹底した。また、学習状況の記録シートの導入や、学習後の振り返りシートの導入を行い、すべての学年を通して学習習慣の徹底を定着する取り組みを行った。

入学前課題に対しては行った効果について質問がなされたが、データとして示せるものはなく、退学率の減少が効果であることを回答した。今後データを積み重ねて効果検証していく。

またそのような取り組みは高校としても非常に助かるし、高校生も不安感は無くなる。もっと高校側へアピールしていくと入学にもつながるのではないかとアドバイス頂いた。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適

学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っている。

・学問への取り組み状況や、生活状況を詳細に把握するために定期的に個人面談を導入し早期からの問題解決に努めている。また、問題点を保護者と共有するために、三者面談も多く実施している。

・発達障がいや精神障害により、学業の習得に支障が出た場合や、出そうな場合には学生相談室でのカウンセリングを進め、教務と相談室が協力し指導する体制をとっている。

委員より、入学前から学ぶ姿勢を作っていくことは重要である。臨床現場としても学ぶ意欲のある人が就職してもらうことが望みである。と意見を頂いた。今後も継続し更なる学生支援を行っていく。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適

教育運営に支障を生じさせないように教育設備を整備している。

施設・設備については指定規則において必要な施設基準、備品が明確に定められており、当校は監査においても満たされていると評価されている。教職員による機材・備品の棚卸しを年1回実施し、適宜修理補充を実施している。

図書についても同様に指定規則に基づき冊数、分野ごとの整備を行っており、学生が利用できる環境を整えている。また、図書に関しては蔵書のみではなく、医学文献配信サイト「メディカルオンライン」との契約により、在校生、教職員が医学文献の検索、全文閲覧、ダウンロードをできる環境を整えている。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適

学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っている。
学生募集は、募集要項、Web サイト等で公表している。入学事前説明会・学校説明会説明において学生および、保護者に説明を行なっている。学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示している。入学試験面接および入学選考は、教員、広報担当者などが行ない、入試選考基準は公正かつ適切に設定して運用している。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡し、高校へは直接選考結果を説明している。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適

教育活動を安定的かつ継続的に進めるため、財務基盤が安定し、適正な財務管理、監査の実施及び情報の公開を行っている。
定員充足率、入学者比率は、改善傾向で、収入と支出のバランス、また、貸借対照表からみて、財務基盤は安定しているといえる。
予算計画については、校長代行によって予算計画が立てられ、予算計画を理事局及び法人本部にて協議され決定されている。予算執行については、年度初めの事業計画を基に適切に執行されている。
財務情報は HP にて適切に公開している。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正に学校運営を行なっている。
関係法令、専修学校設置基準、専修学校設置基準、厚労省養成施設指定（施行）規則、等を遵守し、適正に学校運営を行っている。

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適

教育の質を保証する仕組みを構築し、教育内容等について自己評価を行い、課題解決に取り組んでいるか。また、教育情報を積極的に公開している。
学校教育、学校運営について、自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けている。毎年定期的に自己点検・評価を行ない、改善計画を作成し、課題解決に取り組んでいる。さらに外部有識者を交え学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において学校関係者評価を実施し、教育力改善の取組みを行っている。自己点検・評価及び学校関係者評価の結果は HP 上で公表することで社会に対する説明責任を果たしている。改善状況については、内部監査にて検証している。
加えて、5年毎にリハビリテーション学校評価機構より教育課程および教育研究活動などの状況に特化した評価を受け、その結果は同機構の HP 上に公表されている。

基準1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適

公共的な機関として、資源を活用して社会的な活動や地域貢献活動を行っている。

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO 法人・ボランティア団体等への支援や教職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受け入れなど、積極的に社会貢献を進めている。また、教職員においては企業・地域・行政等の依頼を受け、出張講義・指導を行なっている。また、研修生の受け入れを行なっている。

学生のボランティア活動は、推進委員会を設け学校毎あるいは各々の学校教育内容の特徴を活かした連携を図りながら推進している。

ボランティアに関してはカリキュラムに置き換えられていないので、今後の検討課題である。資格取得のためのカリキュラムの中での位置づけをカリキュラム会議の中で今後検討していく。

基準1 2 国際交流

学校関係者評価結果： _____

外国人に対する受入に対し規定を定め、受け入れに対する態勢を準備段階である。在籍管理や相談体制について担当者を整備する予定である。

海外留学に関しても海外留学規定を定め、短期留学・長期留学を推進し、説明会を実施している。またその間のカリキュラムについての配慮を行っている。また「麻生塾海外留学奨学制度」を設け費用面での援助を行っている。

カリキュラムへの配慮はあるものの単位認定には至っていない。資格取得のためのカリキュラムの中での位置づけをカリキュラム会議の中で今後検討していく。

以上